

教育セクションへのヒアリングポイントについて

日 時

別添ご連絡のとおりです。

ヒアリングポイント

理事長、学長、教務部長、学部長が、各セクションと話し合いの場を持つこと自体を主な目的とします。

ヒアリングポイント2

- ・各セクションの教育・研究内容のご説明をお願い致します（必要があればアトリエなど見学させて頂くこともあります）。
- ・「1997 - 99」ヒアリングの「課題」について、何らかの取り組みを行いましたか？
ヒアリング記録：<http://www.tamabi.ac.jp/kyoumu/accredit/accre1.htm>
- ・'2000以降の活動を通しての、各セクションにおける問題点を教えてください。
- ・それらを解決する方法をどのようにお考えですか？

ヒアリング方法

理事長、学長、教務部長、学部長が各セクションに伺い、意見交換を行います。各セクションのミーティングルームなどで行います。ヒアリング出席者（理事長以下4名+筆記者1名+各セクション参加者名分）に対応できるように、お手数ですがミーティングルームなどのセッティングをお願いします。

今回のヒアリングのポイントは、各セクションと意見交換を行うことです。ヒアリングに際して、特別な資料などは必要ありません。資料を提示頂ける場合は、レジюме程度のもので結構です。